

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6			定員に対し広いスペースを確保している。ワンフロアであるため共有スペースを上手く活用している。
	2	職員の配置数は適切であるか	6			運営基準を満たし、それ以上の職員配置を行っている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	2		必要最低限の設備を設置している。今後必要があれば改善検討する。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6			職員全員で支援を振り返り、課題や目標の話し合いを行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6			毎年保護者評価を実施。また日々の情報の交換等で改善点があれば実施している。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6			ホームページ上に公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			5	現在は実施していない。今後必要があれば実施する。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6			法人内研修や外部研修に積極的に参加している。今年度はコロナの影響で減少。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			アセスメント会議を職員全員参加で行い、子どもの現状を理解し課題を客観的に分析し計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6			法人内で標準化されてアセスメントツールを使用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6			当番制で活動プログラムの立案、実施を行い、職員全員で参画している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6			季節毎のイベントや日々の活動でマンネリ化しないように順次工夫をしている。新たなプログラムを日々実施している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6			活動内容に対して目的を持った活動になるように考えながら支援を行っている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			個別の活動や集団の活動をそれぞれ計画にいれ作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6			朝礼にて一日の活動を確認している。また必要があれば個別の対応を確認している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6			職員間で支援中気がついたことは話し合い、振り返りを行い情報の共有を行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6			日報や、個別の観察記録を毎日作成している。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6			概ね6ヶ月毎、または必要に応じて適宜見直しを行い課題の整理を行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	6			屋外や屋内での活動、コミュニケーションを大切に、様々な経験が出来るようにしている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6			児発管が参加している。必要時には児童指導員も参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	6			学校や保護者と情報の共有を図り、適切な連絡調整を行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			6	現在医療的ケアが必要な子どもの受入を行っていない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		6		相談員を通じて情報の提供を求めたり、直接問い合わせを行うこともある。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		6		相談員を通じて情報提供を行っている。他の障害福祉事業所からの問い合わせはない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		3	3	新型コロナウイルスの関係で研修参加が出来ていない。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		6		今年度初めて学童の指導員と話し合いをする機会が出来た。今後は児童も含め関わり方を考えていきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	6			管理者が参加しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5			お迎え時に保護者にその日にあった事の様子を伝え、課題があれば情報共有している。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	6			必要時には適宜助言等を行っている。児発管がペアレントプログラム講師資格取得。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6			契約時に管理者が行っています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	1		相談があった際には対応し助言を行っている。また、支援に反映できるところは支援計画に追加を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			6	現在保護者会はない。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			苦情があった際には迅速に対応し、法人内でも情報の共有を行っている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	2	4		定期的ではないが必要時に作成し案内をしている。
	35	個人情報に十分注意しているか	6			保護者の許可なく情報の公開をしていない。書類などは鍵付きの書庫で管理。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			情報が正しく伝わる様に個々にあった方法で対応している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		6		毎年地域の方を招いて、作品展を法人一体で実施している。今年度は計画していたがコロナウイルスの関係で中止した。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6			策定し、保護者には契約時に説明している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6			概ね2ヶ月に一回、口頭での訓練やSSTを活用した訓練を実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6			法人内の研修や、外部研修に積極的に参加している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6			現在身体拘束は行っていない。必要時に説明できる様にマニュアル、や同意書作成している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	1	5		医師の指示書はないが、アセスメント時に保護者から情報を頂き配慮している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6			各事業所で作成し、法人内で共有・検証を行っている。

児童デイSES藤枝みどり校